

環境負荷低減の取り組み

当社は、製造工程において多くの電力や化石燃料を使用し、ばい煙等を排出しています。そのため、省エネ対策に積極的に取り組むとともに、大気、水域への環境負荷の低減に努めています。

地球温暖化抑制・省エネルギー対策

製造工程において、電気炉高温排ガスをニッケル鉱石の乾燥工程に利用し、重油およびLNGの使用量を削減する等、エネルギーの効率的な活用に取り組んでいます。

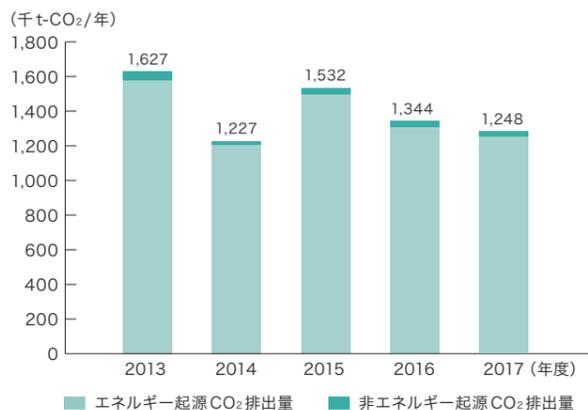
2017年度の総エネルギー使用量は、2016年度と比較

し生産量が減少したため、結果的に約6%減少し、またCO₂排出量も約7%減少しましたが、生産量あたりのエネルギー使用量およびCO₂排出量は前年とほぼ同等となりました。今後もこれらの削減に努めていきます。

■総エネルギー使用量



■CO₂排出量



大気汚染防止対策

製造工程や自家発電設備から発生するばい煙を抑制するため、テレメータによる常時監視、排ガス連続測定装置の更新等の対策を講じるとともに、自主管理値の管理状況の社内回覧や法規制順守教育を実施し、社員の意識高揚を図っています。また、貯鉱場、場内路面などへの24時間散水やダストモニターによる常時監視を行い、粉じんの飛散を防止しています。

2017年度は、大気汚染物質のNO_x排出量およびばいじん排出量は昨年より軽減されましたが、SO_x排出量は副原料の硫黄分の変動により増加しました。



脱硝設備

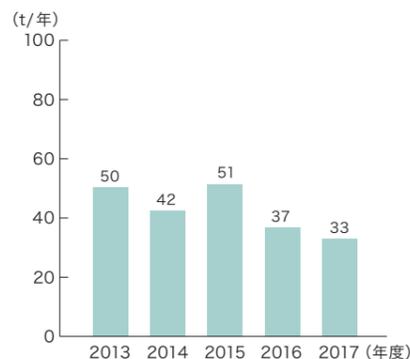
■SO_x排出量



■NO_x排出量



■ばいじん排出量

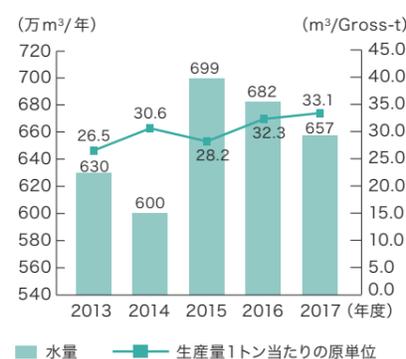


水質汚濁防止対策

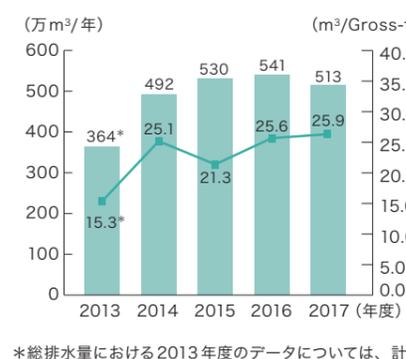
電気炉やフェロニッケルスラグの冷却に、循環水を利用することにより水使用量を削減しています。排水については、排水終末処理施設で適切な管理を行っており、定期

検査に加え、連続監視モニターによるリアルタイム監視や従業員による巡視などを実施しています。2017年度も排水の協定値超過はありませんでした。

■給水量



■総排水量



■循環利用水量



*総排水量における2013年度のデータについては、計測器の故障により正確なデータが把握できなかったため参考値

化学物質の適正管理

化学物質については、購入量、使用量、保管量の管理を徹底し、有害物質の使用量を削減しています。PRTR制度に基づき、毎年行政への届け出を行っていますが、2017年度のPRTR届出対象物質は、表に示す4種類でした。

また、フェロニッケル製造工程から排出されるニッケル化合物を当社の最も重要な管理項目の一つとし、ダストモニターの設置や集塵機の更新などの対策を講じています。

■ニッケル化合物排出量



■2017年度PRTR届出対象物質

排出量	媒体	ニッケル化合物 (kg/年)	クロム及び三価クロム化合物 (kg/年)	マンガン及びその化合物 (kg/年)	ダイオキシン類 (mg/年)
		大気	154	49	32
排出量	水域	42	4	9	0
	土壌	0	0	0	0
	所内埋立	0	0	0	0
移動量	社外廃棄物	0	0	0	30

環境法規制等への対応

フロン排出抑制法に基づき、当社で保有する業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器等の点検を定期的に行っています。点検の結果、報告が必要な漏えい等はありませんでした。

大気汚染防止法の水銀排出施設である廃棄物焼却炉については、法に則り排ガス中の全水銀を測定しています。廃掃法における水銀使用製品廃棄物（蛍光灯等）について

も適切に処理委託しています。また、PCB含有機器のうち、大型変圧器の微量PCB含有絶縁油の処理に関しては、撤去活動を進めています。



排ガス測定